

開園三十周年記念式概況(準備の二日間)

十月三十日

三十周年記念日とあつた二日に迫つた。今日は幼児と會集だけで歸らせて園の内外の大掃を行ふ。

一の組から五の組までの机は全部遊戲室に運び此處に祝場の準備となる。祝宴場には幼児の作品を陳列して適宜裝飾を以て。

二組、三組の保育室は控室となし、三組の保育室は慰霊祭場としてそれぐ準備す。

園庭には渡辺先生の印指図で本校生徒の方々によつて菊の花が美しく植まつけられまゝで見違へる様に立派になつた。兼つてお殿の門標として

三時頃に [redacted] お届けして下さる。 [drawing] 櫻の花辨の

一ノ刻、すすのびに藝術家の作だけあつて小さな門とよく調和して子供の庭といふ感じと深さ、玄関横の桃太郎も夕方には出来上つて着々と準備が整へる。

十月三十一日

今日は午か九時から幼児と園庭に集め式の稽古をなし、ゴオカルクと興へて十時過ぎ幼児と退散させて準備に取りかゝつた。

午か中は昨日掃除の出来なから、應接室、職員室、内玄関などの敷の理を行ひ午後一時より本校に行き、式場控室受付けなどの準備と行ひ本校の小使さんばかり働いて午後四時頃には立派に出ま上つた。會計部
お指図を頂き、本校の勝手のおかろない私達にとつては大きな感謝であつた。何の
先生の人達もよく働いて午後七時頃には準備完了。夜空には星が煌々と輝き、明日の晴天を確證してゐるかの様であつた。

式場係

(係 淨謙 江口 教生 五名 小便 三名)

一、場所 本校講堂

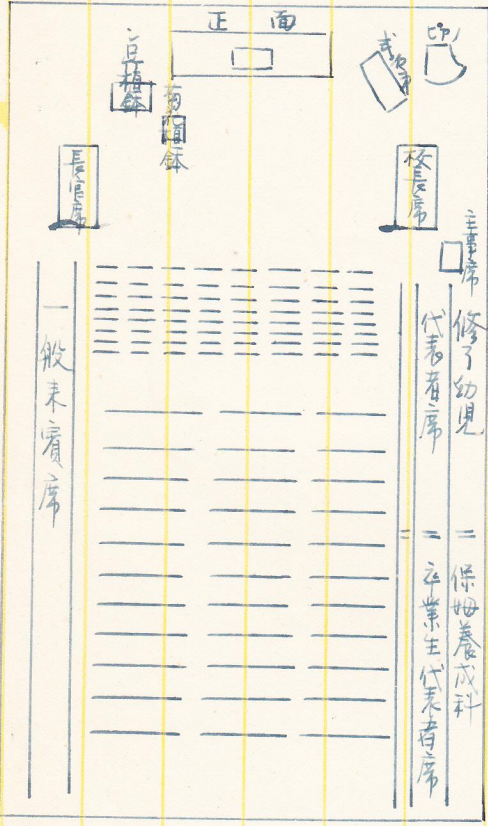
一、準備 来賓用椅子...一五。脚 保護者用長椅子...四二脚

幼見用長椅子...六。脚 机三脚(一脚は正面壇上、一脚は長官席、一脚は校長席)

大鉢植...二個 黑板(式次第を貼る爲)

視蓋...二個 テーブル掛...三枚

貼紙(来賓席、修了幼見、代表席、保母養成科卒業生席)



奈良女子高等師範学校

一、今日の状況

三十一日午後一時より教生五名本校小使三名を使用して準備をす午後四時準備完了
一、当日の状況

大体におそよぶに思ふに日曜日だるため一般来賓の方の予定以上に多
かたので少々まごつた。一般来賓席の方を二列に、おむろ三列にするハ
よかつた。修了幼児代表者及保母養成科卒業生代表者は予定にも少かつ
たので椅子の数は百五で丁度一杯である。

感謝状受領者席が別に準備してあるに、会場係と接待係との連絡が不
ちであるため予定通り実行出来なかつた。来賓入場の時第一應接室の中
方はお方入に、第二應接室の方は後方の入口に、と二方面に分けたいと
思ふに、その感謝状受領者は一番先に入場させて席を整つる事が必要だ
と思ふ。幼児席に幼児用の椅子を並べ、事は大変よかつた。幼児席は芝
日までの生活環境が、わくわくとあり、鳥と尚気を整理の十分出来を、甲に式がはじまるので大変

軽便

奈良女子高等師範學校

接待係 (予二控室)

係 増田雨子 教生 四名

幼稚園終了幼児代表及び保母養成科九卒業生代表の接待をなす

一 場所 本校集會室を借用す

一 準備

借用物 本校會行より 白テーブルクロス 大三枚 小一枚

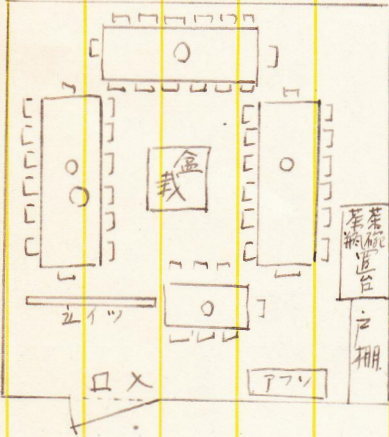
煙子石皿 三コ 菓子器 二コ

本校小使室より 茶碗 及び 茶瓶と茶罐

本校園藝場より 盆栽 松ノ木

右の物とれく借用願ひを出して借用す

集會室の窓掃除をふし 借(付け)の机 椅子
を借用し 上図の如き掛置す



一當日の状況

九時過ぎ接待係員急ぎ本校へ行く モチカ 大森餅屋りの最中 三丁位を二丁の菓

子器を盛り 菓瓶を お菓を入る (湯は本校小作室より取り 菓の菓は

幼稚園より持ちます) 接待係と若長表いりホンの徽章をつけ幼次代表 保母科

卒業生 代表のふりまふるのを待つ 九時半頃 去年幼稚園を遊了した

けりりのものをい、幼次代表か やる来た 直ちに 控室へ案内する 暫くは

とありて [REDACTED] 如の責任係母らより方五六名ありてなる。 赤紫の色鮮か

不紋はきし控室もパツと明るくなられた ついで 読書 おこなうなる。 校

内の様子を知ると方ばかりで 卒業生の必要もなさうである。

幼次代表の方は 卒業者が少く長のを 話す相手もなく 静かな控室のふでさうなり

つやがるのみ。 それで 保母科卒業生を代表は 正座の座。 こころの静下

よかちやうくは 昔話や 止況話を話して笑かせ 嬉しうなめき声の絶局かない。

園芸部等は 卒業生を一杯、と 話さるも 中々おろしなる。 その賑やかなる。

よろこび、あふれたこの盛況。 折角準備した控室は あり用をなしてな

れた。 十時十分前 会場(本校講堂) 北側の下口より 卒業生する。

奈良女子高等師範學校

接待係 (才一) 係 (内藤淳子 教生五名)

【人】 一般来賓を接待す。受付を別けたる者。

【場所】 来賓室 口 應接室に集内し接待す。

【準備】 来賓室 帽子を今掛り 二台 植木鉢二個 (室内裝飾用)

大植木鉢及び台 (玄関正面裝飾) 煙草灰皿 二ヶ

菓子皿二ヶ 机 (茶碗置用) 衝立 椅子二十脚

茶碗 (三十) 及び茶託、茶瓶 等。茶菓子、湯。

上用ハケウ及び布巾 大葉錫。

口 應接室 机ヲ三ヶ所ニ集ム 卓子掛 三枚 菓子皿一ヶ

茶碗及び茶瓶 茶菓子、湯。

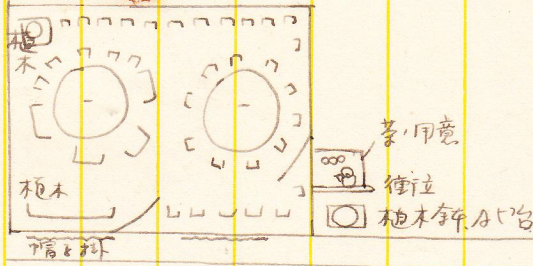
右品、お日借用品とあり 植木鉢は園藝より 其の他のものは合計も

借用す。 (茶碗、茶瓶、湯を小使室より)

お日午後より 室内の掃除及び 接待室と書きたる標及び便所

への矢印標を貼る。両室も平生の儘 机、椅子を置く。

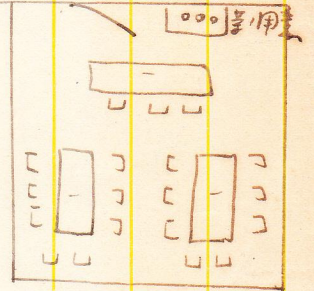
(来賓室)



便所 ←

長椅子
肘掛椅子
椅子

受付



(應接室)

【当日の状況】

午前九時より午後三時より接待終了。
室の案内として茶・菓子と椅子
の並べ方を示す。

午後三時より来賓室に應接室まで
入り切らぬほどの盛況。は應接室に
婦人來賓のみ入りし。

第二控室の来賓を式場の案内と
して送り出した。式場の案内す。

式後再び案内して休息せよと
来賓別名 他は直ぐに幼稚園の
会食場の案内に切り替えた。

拜啓 益々御清昌奉大賀候 陳者來十一月一日(日曜日)
午前十時奈良女子高等師範學校附屬幼稚園開園二十周年
記念式典本校講堂ニ於テ舉行致候間御來臨ノ榮ヲ賜ハリ
度此段御案内申上候 敬具

追而

御來臨ノ有無乍勝手十月二十八日迄ニ承リ度又御來臨ノ節ハ午前九時四十分迄ニ
本校玄關受付ニテ本狀御示被下度願上候

昭和十七年十月二十二日

奈良女子高等師範學校附屬幼稚園主事 小川 正 通

殿

三十周年記念行事日程

- 十一月一日 午前十時 記念式(本校講堂) 午前十一時半 來賓晝食(本園遊戲室)
午後二時 本校保姆養成科並ニ特設保姆養成所卒業生招待會(佐保會館)
- 十一月二日 午前九時 皇太神宮大麻奉齋殿祭 午前十一時 園旗入魂式
午後零時半 物故者慰靈祭 午後二時 映畫會(ニユース映畫)
十一月三日 午前十時 運動會(本園)(雨天の場合ハ五日に延期)及文化映畫(以上本園)

郵便はがき



奈良市東向北町

奈良女子高等師範學校附屬幼稚園

小川正通行